

上手にできて思わずにつっこり



鬼北の文芸で充実した時間過ごす ◎わんぱく学級

近永公民館とドックフードカンパニー主催の「わんぱく学級」が2月4日に行われました。近永小学校6年生児童を対象に、年間定期的に行われているこの学級。今回は、34人の児童が参加して、鬼北文楽と手すき和紙の泉貨紙作成を体験しました。2班に分かれた児童らは、人形の扱い方や手すきの方法を習い、一心不乱に挑戦していました。指導者が手本を見せると一斉に「すごい」と口をそろえ、興奮した様子も見られ、充実した時間を過ごしていました。

当時の土器などを用いて説明



弥生文化について調査結果を発表 ◎平成23年度鬼北町歴史シンポジウム

「平成23年度鬼北町歴史シンポジウム」は1月28日、近永公民館2階で行われました。「もう一つの弥生文化」と題して行われた今回のシンポジウムでは、本町、西予市、高知県四万十市、大分県大分市の教育委員会職員から、各地の弥生文化に関する調査結果が発表されました。

その後、愛媛大学の下條信行名誉教授をコーディネーターにパネルディスカッションが行われ、約80人の来場者は興味深そうに耳を傾けていました。

愛媛県ノルディックウォーキング指導員の善家栄美子さんを講師に、普段の運動不足を解消しようと集まつた13人の住民がノルディックウォーキングを学びました。

新刊図書を多数加えて堂々オープン



新刊図書を加え新装オープン ◎中央公民館図書室オープニングセレモニー

「中央公民館図書室オープニングセレモニー」が2月14日に開催され、町、教育関係者や近永保育所園児ら約40人が参加しました。セレモニーでは甲岡町長がいさつをした後、近永保育所組の和田諒介くんと池田茉緒ちゃんがテープカットを行いました。セレモニーの後、館内に移動して濱口ゆかさん「奈良」による絵本の読み聞かせが行われ、園児らは夢中になつて耳を傾けていました。



楽しみながらメタボ予防 ◎がんばらないメタボ予防教室

参加者は、想像以上にステイクの扱いが難しかったようでしたが、善家さんのユニークな指導方法に楽しく運動ができた様子でした。今回が2回目のこの教室は、愛媛県ノルディックウォーキング指導員の善家栄美子さんを講師に、普段の運動不足を解消しようと集まつた13人の住民がノルディックウォーキングを学びました。今回が2回目のこの教室は、「がんばらないメタボ予防教室」では2月3日、日吉保健センターで行われました。